

我を贖う者は活く

2021年6月20日

ヨブ記 19章25～27節
テサロニケ人への手紙Ⅰ 4章13～18節
コリント人への手紙Ⅰ 15章
" Ⅱ 5章1～10節

序：人生のはかなさ ヨブ 14・10 詩 90篇

木には望みがある 14・7～9

人は死後、生き返るか 14・14

新しいからだによみがえる コリントⅡ 5・1～10
神から与えられる建物
永遠の住まい

コリントⅠ 15・35～56
天上のからだ
御霊のからだ
朽ちない、栄光のからだ
天に属する方のかたち

新約聖書（イエス・キリストの誕生～昇天）では、キリストは実際に復活
キリスト者に新しいからだ約束

旧約における復活への待望 ヨブ 19・25～27

I. 義人ヨブの苦難

理由なき惨状

全財産をなくす、10人の子どもの死、妻、友人たちの離反・攻撃

全身腫物におおわれ、からだは膿みただれ、腐臭、腐敗

孤独（神からも見捨てられたか？ 人から嫌悪、悪意、遺棄）

神罰、天罰

II. 私を贖う方はおられないのだろうか？

必ず、おられる

きっと、この地上に立ってくださる（贖い主、救い主来臨の希望・預言）

↓

降誕（成就）

贖う方＝没落した親族に代わって、財産を買い戻し、家名を回復・継続する人
近親のひとりに危害を加える者に対して、代わって復讐する人

Ⅲ. 新しいからだ

(1)今の腐り、朽ちていくからだを脱ぐ

新しいからだを着る コリントⅡ 5・1～4

今の肉や皮を脱いで、神のくださる不朽、栄光のからだを着せられる
たましいが裸のままではない

(2)たましいとからだ分離 = 肉体の死 ⇒体は土に帰る
魂は神に

(3)神にお会いする時、じかに神を見る（確信）

新しいからだ

自分の目で

自分自身で

信者の復活 = キリストの空中再臨時、信者の空中携挙時

|| テサロニケⅠ 4・13～18

教会

（主と会い、永遠に主とともにいる、信者同士の再会）

(4)私は熱心に待ち望む

わが心これを望みて焦がる（文語訳）

天からの住まいを着たい II コリ 5・4

Ⅳ. 結び

(1)25節は信じる者の、最も確信に満ちた告白

(2)罪人たちの罵り、嘲り、弟子たちの裏ぎり、鞭打たれ、十字架に釘づけられ、
残酷な死をとげられた贖い主イエスは今も生きておられる

(3)その死体を収められた墓は封じられ、厳しい警備の下に置かれたが、その死んだ
方は甦られた。新しいからだをもって。

(4)弟子たちの見ている前で天に帰られたイエスは、父の右の座でとりなしてくださ
っている。生き続けている。

(5)悪を働く者に、自分で仕返しをせず、正しく裁かれる贖い主イエス・キリストに
ゆだねる 天におられる強力・公正な味方

(6)今は目に見えないこの生ける贖い主に、まもなくお会いする
新しいからだで、自分の目で

(7)ほかの何よりも、私はこのことを待望しているか？

一時的で不完全で腐敗汚濁した現世とは別の永遠、完全、聖なる天の故郷と
そこにおられる主イエス・キリストの再臨と天への転居を